

こどもの城 ニュース

1995・4・15 NO.57 発行/(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5666
〒150 東京都渋谷区神宮前5-53-1



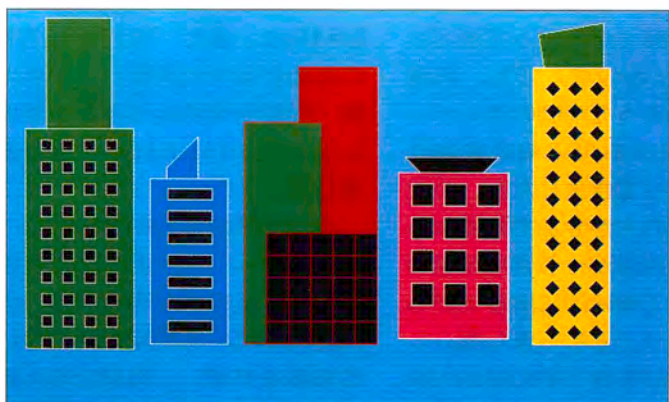
きらり 平早勉の世界

フィヨルド(氷河期に作られたU字谷)の村に住む小学生が、学校から帰宅してきました。とても純朴で家の前で、かわいい笑顔を見せてくれました。
(ノルウェー)

パソコンであそび

パーソナルコンピュータ(パソコン)が普及し始めて10数年になります。最初は一部の研究者など専門家だけのものだったが、オフィスから学校、一般の家庭の中へと広がり、身近な〈道具(ツール)〉になってきました。

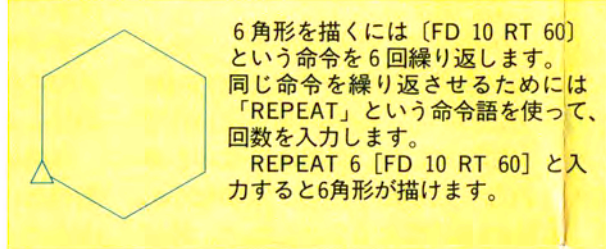
(こどもの城)でも、新しいあそび〈道具〉として、コンピュータプレイルーム(3階)とパソコンルーム(10階)の2か所で、“パソコンあそび”を行っています。今月は、(こどもの城)のパソコンあそびのプログラムを紹介します。



「パソコン教室 ステップ1」の子どもたちが、パソコンで作った絵(コンピュータグラフィックス)。数人のグループに分かれ、一人一人が一つの線や色をロゴで命令しながら作ったものを持ち寄って、1枚の作品に仕上げました。

「ロゴであそぼう」

ロゴ(LOGO)というのは、パソコンに指示(命令)を与えるための言葉の一つ。画面の中の三角形の印(タートル)に指示して絵を描



6角形を描くには「FD 10 RT 60」という命令を6回繰り返します。同じ命令を繰り返させるためには「REPEAT」という命令語を使って、回数を入力します。REPEAT 6 [FD 10 RT 60] と入力すると6角形が描けます。

「ペーパープレーンをつくろう」

機体、翼、尾翼——それぞれの部品がいくつか用意されています。それぞれの中から好きなものを選んで組み合わせ、設計図を作り印刷。それを切り抜いてペーパープレーンを作り、飛ばして遊びます(写真右)。

小川さんは「最初から設計すれば、もっと楽しいプログラムになるのですが、そのためには、航空力学などの専門的な知識が必要になります。パソコンを使って、飛ばして遊ぶことができるペーパープレーンを作ることに主眼を置いています」と話しています。

このほかにも「カードをつくろう」、「コンピュータでミュージック」、「アナグラム」などのプログラムがあります。

系統立てて学ぶ「小学生パソコン教室」

パソコンルームでは、小学校高学年を対象とした「小学生パソコン教室」も行っています。ロゴを使って初歩から学ぶ「ステップI」、その修了者を対象にオリジナルゲームのプログラム作りなどに挑戦する「ステップII、III」です。また、高校生までを対象とした「パソコンクラブ」もあります。



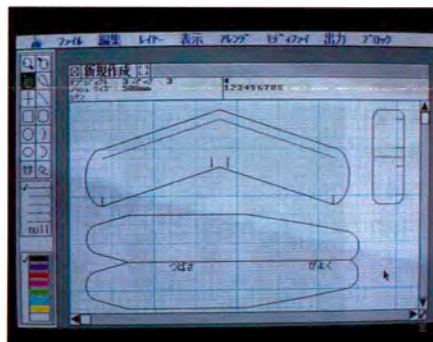
〈道具〉としてのパソコン ～パソコンルームの活動～

絵を描くためには筆、計算するときには電卓などの〈道具〉を使います。パソコンも同じ〈道具〉の一つ。しかも、パソコンを動かすソフトによっては、ゲームをする〈道具〉になったり、計算する〈道具〉になったり、絵を描く〈道具〉になったりします。

パソコンはたくさんの情報(データベース)の中から、調べたい事柄を検索する(探し出す)〈道具〉としてよく使われています。これを利用して、「川の近くに住んでいる+すずめくらいのおおきさ+大きなくちばし=鳥の名前は?」というように、ある条件を満たすものを探すゲームを行っています。

また、CAD(キャド)という、コンピュータを利用した設計システムを応用したプログラムもあります。たくさんの部品の中から機体、翼、尾翼を選んでオリジナルのペーパープレーンを設計し、組み立てるのです。

新しい〈道具〉のパソコンを使った新しいあそび、複雑で難しいことが簡単にできるようになって豊かさを増したあそび——パソコンを利用した新しい形のあそびが広がっていきます。



ソフトを楽しむ「コンピュータプレイルーム」



コンピュータを利用した子どもたちのあそびというと、テレビゲームがあります。ゲーム専用の「パソコン」と言えるもので、コンピュータと言うより、あそび道具の一つとして私たちの身近な存在になっています。

コンピュータプレイルームでは、テレビゲームと同じように、パソコンを〈遊具〉として使っています。ゲームやマウスを絵筆代わりに使ってお絵かきするソフト(コンピュータを動かすためのプログラム)などがあり、パソコンであそぶことができます。

平成7年度児童福祉週間標語

子どもたちの本当の声に耳を傾けよう

昭和22年(1947年)から、児童福祉の向上を図るため、毎年5月5日

の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」としてさまざまな活動が行われています。平成7年度の標語は、「子どもたちの本当の声に耳を傾けよう」。

児童環境づくり推進会議が提唱した「21世紀を担う子どもの豊かな環境づくり宣言」の中から選ばれたもの。「児童の権利に関する条約」の批准を踏まえ、子どもたちが

が素直な心で自由に意見を述べられる場を作り、その声に耳を傾けるとともに、それを受け入れる仕組みを社会に作っていくことをアピールするものです。

Benesse Corporation

あったかコミュニケーション。

がんばろうね
なぜですか?
よくできたね
せいああのね
たのしみにしています
えらいね
できるようになったよ

〈進研ゼミ〉には、さまざまなコミュニケーションのシステムがあります。たとえば、赤ペン先生が会員の子どものひとりひとりに密着した指導を行う「赤ペン添削」。中でも「おたより欄」では、勉強のこと、友だちのことなど、子どもたちから寄せられる疑問や悩みを赤ペン先生が1通1通親身に受けとめて、ほめたり、励ましたり、いっしょに考えたり……。あったかコミュニケーションの場となっています。もちろん、学習面でも、単に○×や点数をつけるだけでなく、ひとりひとりの理解度や個性に合わせて、ていねいに添削指導しています。そうした細やかなコミュニケーションの中でこそ、子どもたちの力が育まれる。と私たちは考えているからです。

福武書店は1995年4月1日より、新社名Benesse Corporation(ベネッセコーポレーション)に変わりました。ラテン語の「bene=よく」と「esse=生きる」からつくったのがBenesse(ベネッセ)です。私たちは、ひとりひとりの充実した生活や向上意欲のサポートをしています。

ビクトル・ダミコ展(10月28日~12月3日) こどもアートカーニバル



「こどもアートカーニバル」のスタッフとダミコ氏

極的に進めました。その一つに「こどもアートカーニバル」があります。1942年から毎年クリスマスの時期に美術館のなかに4歳から12歳の子どもを対象にした「アートと出

て玩具であそび、気持ちが生き生きとした後は、明るい部屋に入ります。

そこでは、大きな紙と筆や色セロファン、糸、針金などさまざまな材料が豊富に用意されていて、子どもたちは絵を描いたり、ものを作りたくなってきます。部屋には「白鳥の湖」や「くるみわり人形」などの音楽が流れ、年齢の異なる子どもたちが一緒に楽しいひとときを過ごします。

「こどもアートカーニバル」はアメリカだけでなく、イタリアやスペイン、ベルギー、インドにまで活動を広げていきました。残念ながら、ダミコは1987年に亡くなりましたが、その快活な精神と活動がよみがえって今年11月に日本の「こどもの城」にやってきます。

楽しいカーニバルのはじまりです!

【こどもの城】開館10周年記念行事

イーハトーボの音楽劇『銀河鉄道の夜』(8月3日~7日) ジョバンニ役は伊崎充則さん

【こどもの城】開館10周年記念青山劇場8月公演『銀河鉄道の夜』のキャスト(出演者)の一部が決まりました。

主演のジョバンニは、伊崎充則さんです。伊崎さんは18歳の大学1年生。小さいころからテレビや映画で大活躍しています。お父さん、お母さんたちは顔を見れば、アアこの人かと思われはすです。映画では『木村家

の人々』や黒沢明監督の『夢』『八月の狂詩曲』、テレビでは『親子ジグザグ』『四万十川』『17歳』などに出演、孤独感とユーモアを併せ持つようなちょっと不思議な雰囲気のある役者です。今回が舞台初出演。

ケンジとアメユキという原作にはない2つの大事な役があります。ケンジには文学座の清水明彦さん、アメユキは歌手のさ

ねよしいさ子さんが決まりました。清水明彦さんは、宮沢賢治の生涯を追ったこまつ座の名舞台『イーハトーボの劇列車』(井上ひさし作)で主演の宮沢賢治を演じて話題になりました。今回も宮沢賢治を思わせる男=ケンジに挑みます。さねよしいさ子さんは「マルコじいさん」のヒットでおなじみのシンガーソングライターで、今回はイーハトーボの精霊のような役回りで魅力的な歌をたっぷり聴かせてくれます。

い。同じ立場の【こどもの城】の女性ボランティアと交流することは互いに大きな意味があると思う。これからも機会があれば活発に交流していきたい」と研修教養部の浦本桂子さん。

26日には、児童センターを利用する子どもたちを対象にした、影絵の公演が2回行われ、合わせて150人の親子が参加しました(写真右)。「地域でボランティア活動をしているのは、圧倒的にお母さんが多



阪神大震災に被災した淡路島の保育園で 臨床心理の立場から援助活動

阪神大震災の震源地近くで大きな被害を受けた兵庫県一宮町(淡路島)の群家(ぐんげ)保育園で【こどもの城】小児保健部の臨床心理士・井口由子さんが訪れ、臨床心理の立場からの援助活動を行いました。

今回の訪問は、一宮町で「ちびっこだ場」を主催している佐藤亮

子・子育てふれあいセンター所長が進めている未就学児とその母親を対象とする心のケア活動から要請されたもの。3月3日は2月14日の訪問以来2回目になります。

午前中は、2~6歳の子どもたちのパステル画を見ながら、絵の中に現れた心の状態をもとに、子どもたちの園での様子、地震の体験

東京湾フェリーを使って釜山へ。ロープウエーに乗ったり、ハイキングを楽しみます。東洋一大きい大仏や「地獄のぞき」という100mを超える絶壁などを見学します(雨天の場合はコースを変更します)。

参加受付は4月25日から。参加費用など詳しいことは【こどもの城友の会】事務局【03-3797-5666】までお問い合わせください。

「こどもの城友の会」では会員を対象に春と秋の2回、家族で楽しむアウトドアのプログラムを開催しています。5月27日(土)には、緑豊かな自然にあふれた南房総の鯉(のこぎり)山方面へのファミリー・ハイキングを計画しています。【こどもの城】に集合して、



自分の記録に挑戦する【こどもの城】の第7回水泳記録大会が3月5日に開かれ、水泳の講座・クラブ受講者約200人が参加。



'95こどもの城体操発表会が3月12日に開かれ、新体操講座と幼児体育講座の有志の子どもたちが妙技を披露しました。



【こどもの城】の音楽講座・クラブの合同発表会・ぼくらのサウンド'95が、3月25日~27日青山円形劇場で開催されました。

とその後状況の変化などについて保母と話し合いました。絵のなかには炎や大波など、自然の脅威を表現したものもあって、子どもたちに与えた衝撃の大きさを物語っています。

午後は近くの避難所で、子育ての悩みや震災後の子どもたちのケアについて、母親の相談に1対1で対応しました。地震後母親から離れなくなった子ども、家のなかの魚裂におびえる子どもなど、親子関係にも地震の影響が見られ、悩みはつきないようでした。

育児相談概論研修会の

受講者を募集中!

育児関係者を対象とした平成7年度「育児相談概論研修会~育児所は育児相談で何が出来るか」が5月1日の午後【こどもの城】研修室で開催されます。

育児所が行う育児相談事業に対

する期待と関心が高まってきています。【こどもの城】でも、実践事例を持ち寄って講師のスーパーバイズを受ける育児相談研修会(継続)を行ってききましたが、今回はより多くの人が参加できるように保育所の保母が行う育児相談の研修会を行うことにしました。

講師は山崎美貴子明治学院大学教授と山田美和子全国社会福祉協議会高年福祉部長。「育児支援に対する保育所の役割」「育児相談のすすめ方~相談の基礎・事例の検討」の講義が行われます。

受講料は5,000円、定員は130人です。お問い合わせ・お申し込みは【こどもの城】保育研究開発部【03-3797-5669】まで。

小児保健研修会と小児肥満

のための指導者講習会開

「第2回小児保健研修会」が育児関係の専門家などを対象として

3月4日に、また「第17回小児肥満のための指導者講習会」が小児保健・学校保健関係者などを対象として3月10日にそれぞれ開催されました。

小児保健研修会のテーマは「乳幼児の食」。育児文化研究所の丹羽洋子、小児科医の今村榮一の両氏を講師に、乳幼児の食についての知識を整理し、母親たちへのよりよい助言者になるための研修を行いました。

また、小児肥満のための指導者講習会は、開館以来継続的に開かれているもの。【こどもの城】の総合機能を生かして、医学・栄養面だけでなく、実技を含めた運動面も取り上げている。小学生を対象に実施している「健康スポーツ教室~太りすぎクラス」の経験を踏まえて、講習を行いました。

講師は村田光範東京女子医科大学第二病院長、坂本元子と洋子女子大学教授、こどもの城体育事業部職員。次回は本年夏に開催予定。

今年度は4回の実技指導講習会を予定

【こどもの城】で開かれました。総会では、平成6年度事業報告、同収支決算(見込み)、平成7年度事業計画、同収支予算が審議、決定されました。

平成7年度の児童厚生員等実技指導講習会は、1回増えて年3回から年4回になります。今までは宿泊しての講習だけでしたが、今年初めての試みとして、日帰りの講習を企画しました。講習会のテーマと日程(予定)は次のとおりです。

【第1回】テーマ=児童館を拠点に地域を結ぶ(屋外実習) / 日時=5月31日~6月3日の3泊4日 / 場所=横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター(予定)

【第2回】テーマ=いつでもどこでもだれにでもできるレクプログラム(ゲーム・ソング・ダンスなど) / 日時=9月7日~9日の2泊3日 / 場所=こどもの城

【第3回】テーマ=児童文化にじっくりと取り組もう(紙芝居・パネルシアターの準備から実演まで) / 日時=11月8日、15日、22日、29日の4回(毎週水曜日の通いの講習会) / 場所=こどもの城

【第4回】テーマ=【こどもの城】の遊びのプログラムのワークショップ(乳幼児の遊び・バイリンガルの遊び) / 日時=平成8年1月24日~26日の2泊3日 / 場所=こどもの城

こどもの城となかまたち

全国の児童の健全育成をすすめることを目的に「こどもの城全国連絡協議会」(事務局=こどもの城内)があります。児童厚生員のための研修・現任訓練、児童文化・芸能などの紹介、情報交換・資料提供・事業協力などの活動を行っています。

「こどもの城となかまたち」のコラムでは、こどもの城全国連絡協議会の活動を中心に、全国各地の児童センター・児童館の活動を紹介していきます。

こどもの城全国連絡協議会の役員会・総会が3月2日に【こ

青山劇場

- ファミリーミュージカル『ピーターパン』
▷3月30日~4月23日▷S=7,500円/A=5,500円▷演出=藤岡光正▷出演=大和田伸也・沖本富美代・宮本裕子(Wキャスト)▷室町あかね/川崎麻世/堀川早苗/ほか
- ミュージカル『アニー』
▷4月28日~5月21日▷S=7,500円/A=5,500円▷演出=藤岡光正▷出演=大和田伸也/ヒロコ・グレース/今陽子/ほか▷3歳以下のお子様は入場できません。

●石川さゆり音楽会'95春

- 「花風...夢ごよみ」
▷5月27~29日▷SS=10,000円/S=8,000円
- ミュージカル『ラ・マンチャの男』
▷6月4~29日▷S=12,000円/A=7,000円/B=4,000円▷出演=松本幸四郎/鳳蘭/上條恒彦/ほか

青山円形劇場

- 武元賞寿子DANCE PERFORMANCE
「A・huu...vol. III」
▷4月15・16日▷3,600円/当日4,000円(全席自由)

●東京ギンガ堂第6回公演『狂想曲』

- ▷4月19~23日▷3,000円/当日3,300円、中高生2,000円(全席自由)
- こどもの城開館10周年記念『こどもフェスティバル』
▷4月29・30日、5月3~5日▷入場無料▷整理券配布
- 斉藤千雪・斉藤麻プロデュース『ダンス・エレマン』
▷5月1・2日▷5,000円(全席自由)
- 梯都夫PERCUSSIVE MOVE-MENT VOL. II
▷5月9日▷3,500円(全席自由)
- COMPANY KIMEI『SILENT CALL』
▷5月11・12日▷3,800円(全席自由)

●劇団ステージア『誰が駒鳥(コック・ロビン)を殺したか?』

- ▷5月13・14日▷2,500円(全席自由)
- 青空美人Vol.12『スラッガー』
▷5月17~23日▷3,000円/当日3,200円(全席自由)
- 水織ゆみ・ジャンソン・リサイタル Ole./ジャンソン vol.5 『水の女』
▷5月27・28日▷5,000円
- 帰ってきたあびす公演『ジギ』
▷5月31日~6月4日▷3,000円/当日3,300円、中高生2,000円(全席指定)
- オムニバス・プレイ 『Play a Song Vol.3』

インフォメーション INFORMATION

- ▷6月7~11日▷2,800円/当日3,300円(全席自由)
- KEI ONO DANCE NUTS SHOW CASE VOL.5 『ゴブリンとレプリシア』
▷6月14~18日▷3,000円/当日3,500円(全席自由)
- ご予約・お問い合わせは、青山劇場予約センター【03-3797-1400】へ。

平成7年度 児童福祉週間標語

子どもたちの声も傾けよう

【こどもの城】ゴールデンウィーク特別期間
4月29日(祝)~5月7日(日)
午前10時~午後5時30分(入館は午後5時まで)
※5月1日(月)も開館します。
(5月1日~2日は午前12時30分閉館)

入館料
子ども 400円(3歳以上18歳未満)
おとな 500円
(5月8日の「こどもの日」は、18歳未満無料)

波瀾満子のこぼれ話

連載「波瀾満子のこぼれ話」は今回が最終回。なにげなく使っている「こぼれ話」も、波瀾さんの手にかかると、きらきらと輝きはじめます。楽しく、すてきな「こぼれ話」の世界を紹介していただきます。(編集部)

- もろもろ おきた はせ みつこ さく
- もろもろ おきた はせ みつこ さく
はみかき きゅ きゅ きゅ
ごはん べろ べろ べろっ
こぼして ぼろん
でかけた ばたん
- みんなが さろろろ
きたきた かやかや
しゃべった べつちや くちや
わらった けーらけら
あそんだ じゃんじゃかじゃん
ぼかすか ぎゃっほっ
やられた がーん
ひとりで こんちくしょう
あきかん ぼーん
- かえって べたん
おせんべ ぼーりぼり
まんがで うふっ
どこかで ひーぽー
ねこが にゃおーん
かせひいて くしゅん
おしっこ しゅーしゅる
あくび ふうわろわ
ねむった むにゃ